

## 捲上表示装置

実 願 昭 39-38955  
 出 願 日 昭 39. 5. 21  
 考 案 者 柳沢明  
 東京都足立区梅田7の25の12  
 ペトリカメラ株式会社内  
 出 願 人 ペトリカメラ株式会社  
 東京都足立区梅田7の25の12  
 代 表 者 栗林敏夫

## 図面の簡単な説明

第1図は本考案装置を設けたカメラ要部の斜視図、第2図は同上要部部材の作動を示す底面図、第3図は同上指標板の示めす上面図。

## 考案の詳細な説明

本考案は定点式運動機構を有したCdS露出計を内蔵するカメラに於いて撮影に先立ちシャッターチャージ及びフィルム捲上操作に連動してCdS露出計回路を接続し露出計を作動せしめ同時に該露出計指針指標を規定位置に臨ませ、シャッターリリース後は露出計回路を絶つと共に指標を露出計指針から退避しし位置に移動なましめ露出計の使用を不能になさしめる如くなしたる捲上表示装置に関するものである。

実施例について説明すると一定の作動範囲に定められた捲上レバー1より常時一定方向に回転される捲上軸2の下端部には三等分割位置に突子3が固着されたチャージ板4が捲上ギヤ5と共に螺着され該捲上ギヤ5の回転は中間ギヤA6を介してスプロケット軸7に固着されスプロケットAギヤ8に接続され該スプロケット軸7の回転はスプロケットBギヤ9から中間ギヤB10を介しリールギヤ11と連動し該リールギヤ11はフリクションパネでフィルム捲取リールに連動している。12はチャージ杆Aでボデー本体の下面に摺動自在に配設され発条13により第1図に於いて左方向の作動習性が与えられておりチャージ杆B14は溝に沿つて摺動自在に螺着され発条15により常時該チャージ杆A12に接合する如く設けられている。該チャージ杆A12に設けられた二叉部16にはレンズ光軸を回転軸

としたチャージリング17の折曲片18が嵌入され該チャージ杆A12作動に連動して回転しカム面19及び突起部20はシャッターセットレバーに臨んで配設されている。ボデー本体に摺動自在に取付られた駆動板21は発条22により該チャージ杆A12の突出片23に接合されている。ボデーに回転自在に支持された指標軸24の下端部には腕片25が固着され該腕片25に植立せる突子26が駆動板21の二叉部27に嵌入し指標軸24の先端には指標29を有する指標板28が露出計指針36の下面に臨んで固着されている。ボデーに軸着され発条30によつて矢印方向に作動習性を与えられた接点レバー31は作動して来たチャージ杆A12の尾部で押進旋廻され、ボデーに設けられた接点A32を押圧し隣設せる接点B33と接触なましめる如く配設されている、34は電源で35はシャッター内に組込まれた可変抵抗の略図である。

以上の如く構成せる本案は捲上レバー1を矢印方向に回転作動させると捲上軸2を回転し捲上ギヤ5に噛合う中間ギヤ6を介してスプロケットギヤ8を回しスプロケットを回転して一駒分のフィルムを輪動しスプロケット軸7を共動するスプロケットギヤB9は中間ギヤB10を介してリールギヤ11を回転させ連接せるリール筒を駆動してフィルムを捲取る。同時に第2図の□に示す如くチャージ板4の突子3に係合せるチャージ杆A12は矢印方向に押進移動されると該チャージ杆A12の尾部に接合し発条30に抗して揺動する接点レバー31は接点A32を押進し接点B33に接触させ、露出計の回路を接続し露出計を作動させると共に発条22により、該チャージ杆A12に追従する駆動板21は二叉部27に嵌入せる突子26を有する腕片25を指標軸24を軸として旋回せしめ上端部の指標板28の指標27を規正位置にセットする。チャージ杆A12は更に押進されると第2図□に示す如く駆動板21は指標板28の旋回させた位置に残置され発条22によりその位置に保持されており該チャージ杆A12の二叉部16に嵌入する折曲片18を有するチャージリング17を回転させ、カム面19でシャッターセットレバーを廻してシャッターをセットする。シャッターセットを完了すると

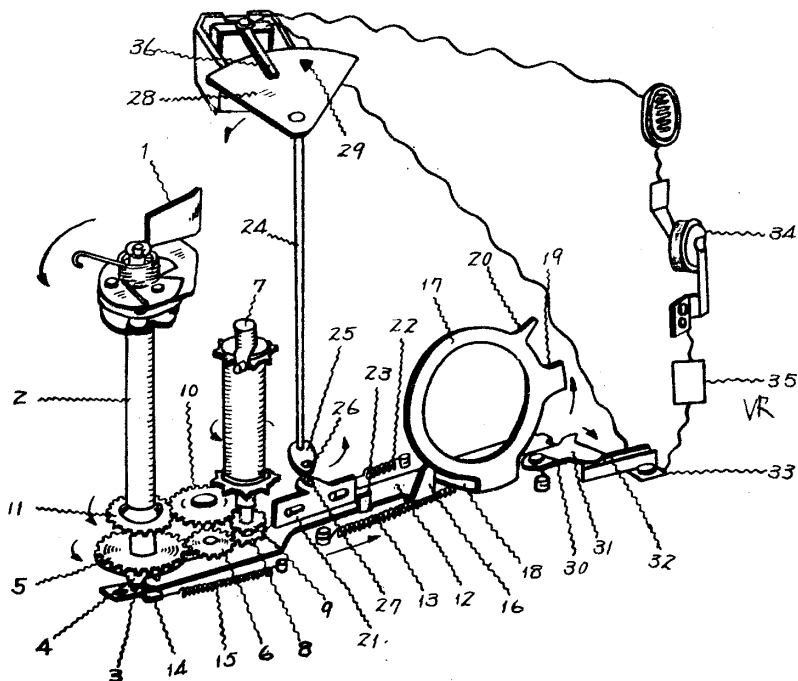
チャージ杆A 1 2はチャージ板4の突子3との係合は外され発条1 3によりチャージリング1 7の突起2 0がシャッターに係合する迄第2図ハに示す位置に復帰して来るがメーター接点レバー3 1及び駆動板21は作動状態を持続している。更にチャージ杆A 1 2に発条1 5により追従作動するチャージ杆B 1 4にはチャージ板4の突子3に捲合しているため二重捲上は係止されている。然る後被写体を撮影すべくシャッターをリリースするとチャージリング17の突起2 0とシャッターチャージレバーの係合が外されシャージ杆A 1 2は駆動板2 1及びチャージ杆B 1 4を伴つて第2図イの状態に復帰するため該駆動板2 1に接続せる指標杆2 4は矢印方向に回転し指標板2 8の指標2 7は露出計指針2 9より退避した位置に来る同時に該チャージ杆A 1 2の尾部と接点レバー3 1の係合は除かれ接点A 32接点B 3 3は離反し露出計回路は絶れる如く構成されている。本考案装置に用いられる定点式露出計連動方式は既に周知の如く露出計の回路中に電気抵抗を入れこれをシャッターのライトバリュールリング(又は絞りリング、シャッター速度リング、ASAリングの組合せた機構も含む)によつて調節すると振れた露出計指針を中央の指標に引戻し被写体が明るければライトバリュールリングを余計回わせれば良いわけで抵抗を適当に調整してあれば露出計指針を定点指標に合せば露出計とシャッターが連動するものである。この機構を本考案装置に装着しCdS露出計を使用する場合には電源が必要となるが従来常時回路を接続してあるため不使用時にも電源を消費している不合理があると共に露出計習性により電源を絶たれると露出計指針はバランス静止位置に復帰す

る回路がある通常定点位置は指針静止位置と一致して配設されてあるため露出計が作動して適正露光を示しているのか、又電源を断たれたため指針が静止バランス位置にあるのかまぎらわしい事があり撮影に際し不手際を起しやすい。本考案はこの様な欠陥を除去すべく前述せる如く構造により、撮影前に捲上レバーに依りシャッターチャージ、フィルム輪動すると同時に露出計回路を電源に接続し指標板を正規位置に配設して被写体の光量を測定し絞りリング及びシャッターリングを作動調節するシャッターリリースによる撮影完了と共に露出計電源を断ち指標板を露出計指針から退避させ露出計の電源が絶れている間は測光不能であることを明示し加えてシャッターチャージ、フィルム捲上が未完であることが容易に判別出来るもので不用意な露出計使用を防止するもので簡単な部材の追加により容易にカメラに組み込むことが出来るもので実用上極めて有益である。

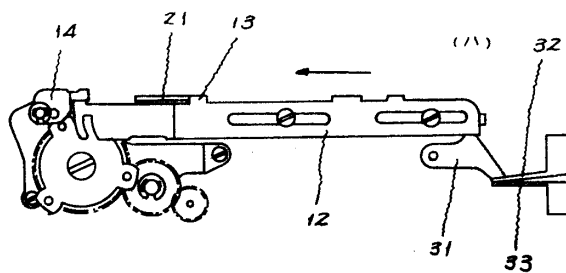
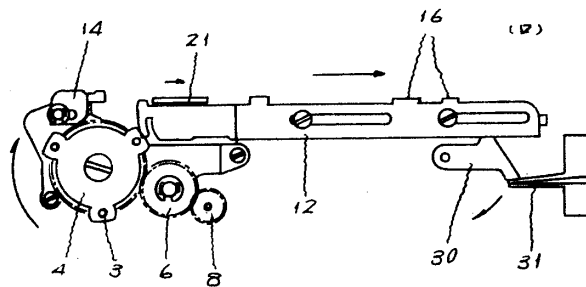
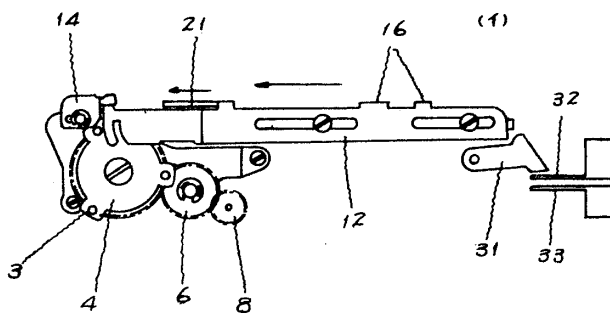
#### 実用新案登録請求の範囲

図に示す如く摺動自在に設けられシャッターチャージ作動をなすチャージ杆A 1 2の一端に発条3 0を有する接点レバー3 1を接合する如く臨ませて軸着し捲上チャージ時に該接点レバー3 1により接点A 3 2を接点Bに接触させ露出計に電源を接続せしめ摺動自在に取付けられた駆動板2 1を発条2 2によりチャージ杆A 1 2の突出部2 3に係合させ該駆動板2 1に指標板2 8を有する指標軸2 4に固着した腕片2 5の突子2 6を嵌入させ捲上チャージ時に指標板2 7の指標2 8を正規位置に設定させる如くなしたる捲上表示装置の構造。

第1図



第2図



第3図

